

二酸化炭素削減目指せ

静岡県 内外から70事業者 説明会

環境に配慮した企業や団体の活動を環境省が評価する「エコアクション21」。その認証取得を事業者に働き掛ける「自治体イニシヤティブ・プログラム」を本年度からスタートさせた静岡市は八日、県産業経済会館（葵区追手町）で全体説明会を開いた。市内外から約七十事業者が参加して、環境経営（環境マネジメント）システムに対する企業側の関心の高さを示した。



講師はエコアクション21の地域事務局に位置付けられる環境資源協会（平井一之事務局長。平井さんは、環境問題の深刻化に伴い、企業の環境への取り組みは「社会貢献の一つ」という位置付けから、「業績を左右する重要な要素」「最も重要な戦略の一つ」へと様変わりしている」と現状

市内外の70事業者が参加したエコアクション21の全体説明会―静岡市追手町の県産業経済会館。

講師はエコアクション21の地域事務局に位置付けられる環境資源協会（平井一之事務局長。平井さんは、環境問題の深刻化に伴い、企業の環境への取り組みは「社会貢献の一つ」という位置付けから、「業績を左右する重要な要素」「最も重要な戦略の一つ」へと様変わりしている」と現状

的・効率的に行う環境経営システムを構築した上で、目標、行動、結果を取りまとめ、評価・報告するために環境省が策定したガイドライン。企業や団体はこのガイドラインに沿った取り組みを進め、審査を通れば「環境経営」の認証を受けることができる。中小事業者が簡単に取り組めるほか、環境経営システムの国際規格ISO14001に比べて経費負担が少ないなどが特長。市内の事業者が一斉にエコアクション21の認証取得に取り組むように呼び掛ける「自治体イニシヤティブ・プログラム」

を通じて市は、市全体の二酸化炭素排出量、エネルギーコストなどの削減を目指す。

市は六―八月にも計三回、具体的な取り組みに関する説明会を予定している。